

“コストパフォーマンスのよい” 学習のための『QB CBT』3つのヒミツ

『QB CBT』は、vol.1～4（プール問題編）とvol.5（最新復元問題）の5巻構成。vol.1にはガイドラインA・B・C、vol.2にはガイドラインDの1～11、vol.3にはガイドラインDの12～15・E・F、vol.4には多選択肢型・4連問が収録されています。vol.5には全範囲の最新復元問題を収録。さらにvol.1には基礎医学のまとめ「Lecture」を掲載しています。



ガイドライン
A・B・C



ガイドライン
D1～11



ガイドライン
D12～15・E・F



多選択肢型・4連問

+



全範囲

『QBCBT』には、みなさんが“コストパフォーマンスよく”
学習するためのヒミツが3つあります!

① 役立つ知識だけが詰まってる!

CBTで採点対象となるプール問題は、20,000問以上ある上、絶えず削除・追加を繰り返し、入れ替えられています。いくら過去問をたくさん解いても、同じ問題にたまたま当たることはそうそう期待できません。

『QB CBT』は、「この1問が解ければ他も解ける」問題ばかりを厳選し、後述の“わかる”解説をつけることで、どんな問題が出ても対応できる深い理解を促進する構成になっています。

良問を
厳選!

(4) (1) 53 □□□

脾腫をきたさないのはどれか。

- | | |
|------------|-----------|
| a 肝硬変 | b 溶血性貧血 |
| c 慢性骨髄性白血病 | d 再生不良性貧血 |
| e 伝染性単核球症 | |

脾腫をきたす疾患

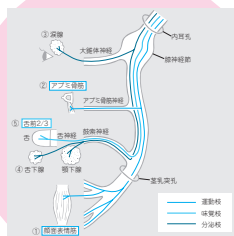
- 血液疾患：慢性骨髄性白血病，慢性リンパ性白血病，骨髄線維症，溶血性貧血，悪性リンパ腫の一部（脾臓浸潤など）など。
- 感染症疾患：伝染性単核球症，マラリア，細菌性心内膜炎など。
- 肝疾患：肝硬変などの門脈圧亢進を伴う疾患。

納得の
解説!

② 繰り返し解いて“病気の知識”を定着!

『QB CBT』の解説は、全選択肢の正誤の根拠がわかる解説文はもちろん、パッと見てわかる図表もたくさん掲載。ほしいところにほしい情報があるので、まさに「かゆいところに手が届く」設計。質のいい解説とパッと見てわかる図表で、必要な知識だけを繰り返し学習することで、CBTだけでなく今後のすべての試験で役立つ、何をどう問われても答えられる知識の基盤が形成されてゆきます。

みえる!



何をどう問われても答えられる知識基盤

わかる!

C-2-(1)-1-2)

69

解法の要点

解説

中枢神経系だと考えられる脳
 a 副神経 b
 d 視神経 e

脳神経で中枢神経なのは「嗅神経」は、枝も含めて末梢神経である
 × a 延髄に神経核をもつので末梢
 × b 延髄に神経核をもつので末梢
 × c 橋に神経核をもつので末梢
 ○ d 視神経は視交叉をした後、成する。したがって中枢神経
 × e 橋に神経核をもつので末梢

③ 「もっと知りたい」は参照ページで瞬時に理解!

問題集を解いていて気づいた、わからないところ、もっと知りたいところ…成書でいちいち調べていたら時間がいくらあっても足りないけど、わからないままにしておくのはもったいない!

『QB CBT』は、みなさんにご好評いただいているメディックメディアの他書籍への参照ページを完備しています。CBT受験生のみなさんにオススメなのは『レビューブック』『病気がみえる』『診察と手技がみえる』などのシリーズです! これさえあれば、サクッと疑問が解決できちゃいます。

『QB CBT』完全対応!

『QB国試』にも対応!

